

クリエイティブひがしね ニュース

発行 NPO法人クリエイティブひがしね 999-3796 山形県東根市中央1-5-1 タントクルセンター内
TEL 0237-43-1155 www.higashine.org 発行責任者 菊地和博



心のオアシスあそびあランド

危機管理担当理事 奥山忠雄

あそびあランドのある大森山北山麓に小さな神社があります。その中の石塔には大森神社、裏側に建立年と施主名が刻まれています。100年以上前、原方地区の人たちが、村の安泰と地区民のより良い生活を願って建立したものでしょう。今はあそびあランドにくる子ども達の安全や家族の幸せを見守ってくれています。

さて、昨年のおそびあランドの事故、事件の発生状況を見ると、7月中旬にカラスの大群による遊具へのいたずらに始まって、台風の接近による休園が3回、8月は直径50cmを越える大スズメバチの巣の駆除、さらには黒マムシ2匹の捕獲、そして北朝鮮のミサイル発射によるJアラートの避難対処な、どさまざまなことがありましたが、ひとつだけ救いがありました。

それは、救急車出動要請事案が一件もなかったことです。プレイリーダーの危機意識が高くなってきたことは当然ですが、けがが発生する環境や条件を見直すことが

出来たことも大きいと思います。

例えば、子どもの遊びにはけががつきものですが、すべてのけがをなくすことは無理です。いかにして大きなけがを無くすことが出来るかを考えればその答えは自然と出てきます。これに真摯に対処すればいいことです。

安心と安全はまったく別物です。安全は危険なものを無くせばいいことですが、安心は人と人のつながりで築かれるものです。どんな人でも安心してこられる場所をつくるには、私たちプレイリーダーだけでは限界があり、地域みなさんや来園者の手助けが必要です。

砂漠にあるオアシスのように、よちよち歩きの子どもから小中学生、大人まで、みんなが安心して集える楽しいあそび場を創っていききたいものです。



嶋村仁志さん

「プレイワーク講座」開催

11月29日・30日の2日間にわたり、TOKYO PRAY の関戸、嶋村両氏を講師に、国際的な遊び場作りと子どもがのびのびと過ごせる大人のかかわりについて講座を開催しました。120人を超える方々が受講され、保育や教育の関係者だけでなく保護者からの反響も大きく、感動の2日間となりました。内容を要約して紹介します。



関戸博樹さん

「イギリスの遊び場から見た 子どもの遊び環境づくり」

ロンドンでは、車の通行が少ない身近な道路を「プレイストリート」として開放することにより、遊び場としてだけでなく多世代・他民族交流の場にもなり、人と人とのつながりもでき、街の魅力づくりにもなっています。また、ロンドンは他民族からなる都市で、子育て事情も多様で、子どもの貧困や虐待問題が絶えず、遊び場は福祉的な役割も果たしています。プレイリーダーは国家資格を持ち、遊び場の他にも医療の現場で、病気や障害のある子を支援する専門家としても活躍しています。



「子どもの力を引き出す プレイワークを学ぶ」

子どもの行動を見る大人の色眼鏡(レンズ)によって子どもへの制限は大きく変わります。これを「遊びのレンズ」と表現します。例えば、顔に泥を塗って遊んでいる子どもがいたら、医者は目や口に入ったらと不衛生だからやめよう、保護者は服まで汚れるからやめてほしいと思う。遊んでいる子どもは冷たくて気持ちいいのに何が問題なの！。実際に子ども達は目や口はしっかり閉じ、自分が気に入っている服は汚しません。



子どもたちは自分で考えて挑戦しています。子どもたちを大人の考えや常識にはめ込むのではなく、自分の人生を自分で決められる大人になれるよう、地域の大人みんなで見守ってほしいと思います。(文責・齊藤翔太)



自主事業

ワークショップ

私達は子ども達が様々な素材に触れ、より創造性豊かに、楽しみながら作ることや描くことに取り組めるよう、また、ママたちがリラックスして、少しでも自分をいたわる時間が持てるようにという思いで、ワークショップを開催しています。12月16日（土）、今回も4種類のワークショップを行いました。「自分でやりたい!」「こうしてみたい!」という子ども達の思いを大人が受け入れ、じっくりとおだやかに見守っている雰囲気がとても良かったです。これからも、子ども達の「やりたい!」という気持ちや、ママがリラックスできる空間を大切にしながら、その日の体験が日々の生活につながるようなワークショップを開催していけたらと思っています。（庄司美保子）



ひがすね ツアーズ Part II



ひがすねつあへずは、東根のいいところを歩いて再発見しようという活動です。今年10月15日（日）に開催しました。最初に、東郷地区にある「そらいろBerry Farm」にいきました。ほとんどの参加者が東根にベリー園があることを知らなかったようです。ここでは、クランベリーのもぎ取りをしました。夏場だと、もっといろいろなベリーを採ることができるらしく、みんなでまたいきたいねと話になりました。

次は、斉藤文四郎麩に行きました。六田地域の話や麩の話聞いた後は、試食タイム！麩の煮物と麩まんじゅうを頂きました。帰りはお店に寄ってお買い物。こんなにちかくにありながら機会がなくてなかなか来れなかったと、みんな喜んでいました。（細谷由紀）



鈴木茂子さん 東根芸文協より感謝状受賞

十月二十八日、発足以来十二年間にわたり、けやきジュニア合唱団を支えて来られた鈴木茂子さんに対して、東根市芸術文化協会よりその功績を讃えて感謝状が贈られました。当日は団員も花束をもつてかけつけ受賞を祝いました。



十二月十六日、けやきホールで「クリスマスコンサート」を行いました。一足早いクリスマスソングはもちろん、先日行われた県少年少女合唱祭（やまぎんホール）でもうたった『風のとおりみち』等を発表し、多くの方々に練習の成果を聞いて頂きました。歌を通してとても貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございます。コンサートの後は、お楽しみクリスマス会を保護者会で企画し、団員と先生、親土士の交流の場となりました。（安達恵美）

けやきジュニア合唱団 クリスマスコンサートを楽しもう

十二月十六日、けやきホールで「クリスマスコンサート」を行いました。一足早いクリスマスソングはもちろん、先日行われた県少年少女合唱祭（やまぎんホール）でもうたった『風のとおりみち』等を発表し、多くの方々に練習の成果を聞いて頂きました。歌を通してとても貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございます。コンサートの後は、お楽しみクリスマス会を保護者会で企画し、団員と先生、親土士の交流の場となりました。（安達恵美）

けやきジュニア合唱団 山形交響楽団と いっしょに歌います

山響ホリデーコンサート

平成30年

2.12

月(祝)

東根市

さくらんぼタントクルセンター 大ホール

in 東根

[14:30開場 15:00開演]



主催
NPO法人クリエイティブがしね
東根市教育委員会
後援 東根市音楽連盟

前売券 一般 1100円 高校生以下 500円
(当日1300円) (当日700円)

冬のあそびあランド全開!



すっかり雪化粧したあそびあランド。そりすべり、チューブスライダーな、南斜面は子ども達の声が響きわたり、雪まみれになって遊んでいます。寒くなったらセンターの中に入り、ベーゴマやけん玉に熱中、思い思い好きなことをして過ごしています。雪は冬の子どもの元気な素。今年もあそびあランド全開です!
(高橋陽介)

2月12日(祝)にタントクルセンターを会場に「山響ホリデーコンサート」が開催されます。このコンサートは文化庁の芸術文化振興のための補助金を受けてのコンサートで格安の入場料となっています。

また東根市音楽連盟の有志による合唱との共演もあり、その中にけやきジュニア合唱団も参加、公演に向けて練習に励んでいます。家族みんなで楽しめるコンサートです。前売券はタントクルセンター受付、あすなる書店で取り扱っております。皆様のご協力よろしくお願いいたします。

編集後記

★今年には正月に雪がなかった昨年と打って変わって、年末から正月にかけて大雪となりました。さらに大雪が予想される今年の予報ですが、あそびあランドにとっては待ち焦がれた雪。さまざまな楽しい遊びが空から降ってくるかのようで、野外ならではの企画で来園者を迎えたいものです。(M)